

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成24年2月2日 (2012.2.2)

【公表番号】特表2011-508903(P2011-508903A)

【公表日】平成23年3月17日 (2011.3.17)

【年通号数】公開・登録公報2011-011

【出願番号】特願2010-539437(P2010-539437)

【国際特許分類】

G 0 3 G 15/20 (2006.01)

G 0 3 G 9/09 (2006.01)

G 0 3 G 7/00 (2006.01)

B 4 1 J 2/44 (2006.01)

B 4 1 J 2/45 (2006.01)

B 4 1 J 2/455 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 15/20 5 1 0

G 0 3 G 9/08 3 6 1

G 0 3 G 7/00

B 4 1 J 3/21 L

【手続補正書】

【提出日】平成23年12月12日 (2011.12.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

受像部材上に隆起したマルチカラー画像の電子写真印刷におけるフューザオフセットラチチュードを改善する方法であって、

前記受像部材上にクリアオーバーコートトナーのカバレッジが 100% の隆起エリアを有する第 1 のマルチカラートナー画像を形成する段階と、

カラートナーのレイヤを有し非隆起エリアを有する第 2 のマルチカラー画像を形成する段階であって、前記非隆起エリアは非隆起マスレイダウン (N R M L ; mg / cm^2) を有する段階と、

フューザ温度とニップ幅とを含む N R M L ベースの要因の関数として、前記非隆起エリアのクリアオーバーコートマスレイダウン (O M L ; mg / cm^2) の量を決定し、トータルマスレイダウン (T M L) を超えずに前記フューザラチチュードを最適化する段階と、

隆起エリアと非隆起エリアとを有する前記第 1 と第 2 のマルチカラートナー画像を結合し、トナーを適宜デポジションする段階と、

隆起エリアの前記最大トータルマスレイダウン (T M L) と、前記ニップ幅とにより決まる融解温度で前記クリアトナーオーバーコートと前記マルチカラートナー画像とを融解して、フューザオフセットラチチュードを最適化しつつ前記受像部材への融着をよくする段階とを有する

【請求項 2】

受像部材の特性に基づき、一般的なカラープロファイルを用いて、前記受像部材上の異なる画素位置における前記色の組み合わせによりマルチカラー隆起画像を形成する、請求

項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

カラーマスレイダウンは融解していないトナーの高さに直接関わる、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記形成する段階はさらに、カラートナーのレイヤを有するエリアの上にカバレッジが 100% のクリアオーバーコートトナーを有する隆起エリアを有するマルチカラートナー画像を形成する段階を有する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

受像部材上に隆起したマルチカラー画像の電子写真印刷におけるフューザオフセットラチチュードを改善する方法であって、

各々カラーマスレイダウンを有する少なくとも異なる 3 つの色のトナー色素のトナーで受像部材上にマルチカラートナー画像を形成する段階と、

フューザオフセットラチチュードを最適化するカラーマスレイダウンの合計に直接比例する関数を決定する段階と、

マルチカラートナー画像上にクリアマスレイダウンを有するクリアトナーオーバーコートを形成する段階であって、クリアマスレイダウンは合計の関数により制御される段階と、

1 つのカラーマスレイダウンとクリアマスレイダウンとニップ幅とのうち 1 つ以上により決まる融解温度でトナーオーバーコートとマルチカラートナー画像とを融解して、フューザオフセットラチチュードを最適化しつつ受像部材への融着をよくする段階とを有する方法。

【請求項 6】

受像部材上に隆起したマルチカラー画像の電子写真印刷におけるフューザオフセットラチチュードを改善する方法であって、

各々カラーマスレイダウンを有する少なくとも異なる 3 つの色のトナー色素のトナーで受像部材上にマルチカラートナー画像を形成する段階と、

カラーシフトを制御するカラーマスレイダウンの合計に直接比例する関数を決定する段階と、

マルチカラートナー画像上にクリアマスレイダウンを有するクリアトナーオーバーコートを形成する段階であって、クリアマスレイダウンは合計の関数により制御される段階と、

1 つのカラーマスレイダウンとクリアマスレイダウンとニップ幅とのうち 1 つ以上により決まる融解温度でトナーオーバーコートとマルチカラートナー画像とを融解して、前記マルチカラートナー画像の全てのエリアでカラーシフトを最小化する段階とを有する方法。

【請求項 7】

受像部材の特性に基づき、一般的なカラープロファイルを用いて、前記受像部材上の異なる画素位置における前記色の組み合わせによりマルチカラー隆起画像を形成する、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

受像部材上に隆起したマルチカラー画像の電子写真印刷（EP）におけるフューザオフセットラチチュードを最適化する方法であって、

隆起エリアに対する隆起画像データ部分と、非隆起エリアに対する非隆起画像データ部分とを有する画像データファイルを生成する段階と、

EP プリンタに画像データファイルを送信する段階と、

画像データファイルを処理して、隆起エリアと非隆起エリアとを区別する段階と、

非隆起エリアのカラー画像トナー（CMYK）レイダウンの合計として、画素ごとに、NRM L すなわち非隆起マスレイダウン（NRM L ; mg / cm^2 ）を計算する段階と、

NRM L すなわち非隆起マスレイダウン（NRM L ; mg / cm^2 ）に対して、画素ご

とに、非隆起エリアのクリアオーバーコートマスレイダウンの量を決定する段階と、

隆起画像データ部分と非隆起画像データ部分とを結合して最終画像データファイルを生
成する段階と、

トナーのデポジションを含む、最終画像データファイルを印刷する段階とを有する方法

。